GAMBA!

尾駮スポーツ少年団通信紙
第１０号
平成１９年　２月２８日発行
発行元：尾駮スポーツ少年団
育成母集団

新たなスポーツを初体験!!

２月２２日（木）ハンドボール教室を実施しました。指導者は、青森県代表チームの阿部哲選手。六ヶ所村泊の出身で現在は第一中学校に勤務しています。

当日は４年生以上１２名の団員と育成母集団員８名でハンドボールのおもしろさ等いろいろと教えてもらい、新たなスポーツに触れ合うことができました。参加した団員と育成母集団員の感想は好印象でした。

（感　想）

いろいろと楽しく教えてくれたので、とても楽しくできました。今度もまた、機会があったらやってみたいと思いました。

（５年　七海）

第3回レクリエーション

２月２４日（土）六ヶ所村社会教育課の事業である「親子スケート教室」に尾駮スポーツ少年団として全員で３８名が参加しました。

当日は、青森市も天気がよく、団員も母集団の方々も心もうきうき。昨年度も参加した子どもや大人の方は思い出しながら講習を受け、後半は楽しくスーイスイと滑っていました。初めての団員は、転んでも立ち上がりそれを繰り返しているうちに、スーイスイと滑っていました。（やはり、子どもは吸収力が高いですね）

（感　想）

最初は、転んでばかりだったけど、最後には、上手にうまく滑れたので、またスケートに行きたいと思いました。

（２年　圭祐）

【編集後記】

「指導者・保護者・子どもにできること」

子どもの問題に対処するには大人の連携が必要です。なお、指導者、保護者（育成母集団）、そして子ども達自身の自覚と心がけも欠くことができません。今回は、「孤立化・嫌がらせ・いじめ」を防ぐための５か条を紹介します。（みんなができるといいですね。）

【指導者編】

１．子ども達一人ひとりの考え方と行動を見守る。
２．子どもや保護者と積極的にコミュニケーションをとり、どんなことでも話せる信頼関係を築く。
３．子どものやる気と体力・運動能力を向上させるプログラムを考える。
４．子どもが間違ったことをしたときはきちんと叱る。
５．子どもの様子がおかしいときは、すぐに保護者に報告する。

【保護者編】

１．「早寝・早起き・朝ごはん」を習慣づける。
２．できるだけ家族団らんの機会を増やし、子どもとたくさん話す。
３．テレビゲームやインターネット等は時間を決めてやらせる。
４．子どもが家に帰ってきたら、その日にあったことを毎日聞く。
５．できるだけ団の練習の見学や試合の応援に行く。

【子ども編】

１．大きな声で挨拶する。
２．自分のことは自分でやる。
３．相手の気持ちを考えて行動する。
４．話すときは「何を・なぜ・どのようにやるか」を入れる。
５．困ったときは一人で悩まず、周りの友だちや大人に相談する。

（スポーツジャスト２月号の掲載から）

～連絡～

平成１８年度尾駮スポーツ少年団後期総会を行います。

本総会では、今年度の取組の状況や皆さんからの会費等で買った備品のことや規約の改正、平成１９年度の役員等について話し合うことになります。

皆さんで作り上げている「尾駮スポーツ少年団」ですので、地域の子どもの健全育成を第一に考え、私たち大人がサポートしていますので、是非当日は参加してくだされば と思います。詳しい日程等は次の通りです。

日　時　平成１９年　３月１２日（月）19:00～
場　所　中央公民館　会議室
内容等　活動報告等

※いろいろと皆さんのお話を聞きたいと思いますので、参加お願いいたします。詳しい内容は手紙をご覧ください。